

塩素抜き水道水が一番おいしい！

ミネラル水2種と「利き水」

京都市上下水道局が、水道水と市販ミネラルウォーターの計3種類の味を市民に飲み比べてもらう「利き水」を実施したところ、塩素を抜いた水道水を一番おいしいと選んだ市民が4割で最も多かったとする結果が出た。

利き水は、4月、5月に行った鳥羽水環境保全センターと蹴上浄水場の一般公開の会場で実施した。計1341人が参加し、災害備蓄用でアルミボトル入りの塩素を抜いた水道水と、国産とフランス産のミネラルウォーターを飲み比べた。



ここ数年、日本の各地で水道水とミネラルウォーターの利き水が開催され、いずれの地域でも今回の京都のケースと同様の結果が得られている。

塩素なければ名水並み

回答の結果、「一番おいしい水」は塩素を抜いた水道水が39%で最多で、国産は31.5%、フランス産は29.5%だった。

水道水とミネラルウォーターの区別が出来た人は36.3%で、約6割の人は違いが判らなかった。

同局によると、市の水道水は、名水として知られる「染井の水」とカルシウムやマグネシウムなどのミネラル成分含有量がほぼ同じで、「塩素がなければ名水並み。飲み慣れているもので、市民に受け入れられたのでは。」と話している。

(京都新聞 2009年6月1日より抜粋)

塩素はこうして取り除ける！

■「ヤカンで沸騰」は要注意！

水を火にかけ、沸騰したらヤカンのふたを取って弱火でさらに5分沸騰させる。

ただし、塩素と有機物が反応してできる発ガンが疑われるトリハロメタンは、中途半端な加熱では塩素の反応が活発になり、生成量が増えてしまうので要注意。

■浄水器を上手に利用

浄水器で塩素をはじめ、トリハロメタンも効率よく除去できる。除去量は活性炭の量に比例する。必ず定期的にカートリッジ交換を行い、衛生面、除去能力の維持管理が欠かせない。

アトピー性皮膚炎は治る？

塩素に触れない入浴療法

「塩素に触れない入浴療法」による改善例は、すでに全国で数万人に達しているでしょう。もちろん、熱源を遠ざけたらそれでヤケドが治るという単純なものではないように、細菌やウイルス感染、ステロイドの重い後遺症などが生じている場合は、これだけではなかなか改善を見ない例があることも報告されています。しかしそれでも、塩素に触れないように暮らすことが、アトピー性皮膚炎の治療にきわめて有効であることは、今や疑問の余地なく実証されています。

当社の浄水器はキッチンだけでなく、お風呂・シャワー・洗面所まですべての水から塩素をカットし、美味しくやさしい水に変化させます。



さあ、あなたの家はどうくらい？

残留塩素濃度・DPD法

